



# RSウイルス感染症 乳幼児・高齢者は要注意

令和元年 8月 28日  
富山県感染症情報センター

(0766-56-5431 直通)  
(0766-56-8142 細菌部)  
(0766-56-8143 ウイルス部)

## 感染症発生動向速報

(令和元年 第34週分・8月 19日～8月 25日)

### 《インフォメーション》

#### ●RSウイルス感染症

今週、県内のRSウイルス感染症の報告数が定点医療機関あたり 0.83 人となり、先週 (1.00) より減少しました。県内の報告数は第 27 週 (7月 1日～7日) から増加し始めています (図参照)。

2015 年まで、この疾患の全国における報告数は、秋に増加し始め、年末にピークを迎えていました。しかし、2016 年以降、流行の始まりが早まる傾向が認められ、秋に報告数のピークを迎えています。

RSウイルス感染症は、RSウイルスを原因とする急性呼吸器感染症です。乳幼児の肺炎の約 50%、細気管支炎の 50～90%がRSウイルスによるとされています。主な感染経路は飛沫感染と接触感染で、4～6日の潜伏期間の後、鼻汁、咳、発熱などの上気道症状が認められます。特に乳幼児では重症化しやすく、重症例では入院治療が必要となります。成人のRSウイルス感染症では、上気道の感冒様症状のみで自然軽快することが多いとされています。しかし、高齢者や基礎疾患のある成人では重症化する場合があります。

感染対策としては、手をよく洗う、咳などの症状がある場合は、マスクを着用することが大切です。低出生体重児や免疫異常、心臓疾患などの基礎疾患がある乳幼児に対しては、ヒト化抗RSウイルスモノクローナル抗体であるパリビズマブを投与することで、RSウイルス感染症の重症化予防が期待できます。詳しくは医療機関へご相談ください。

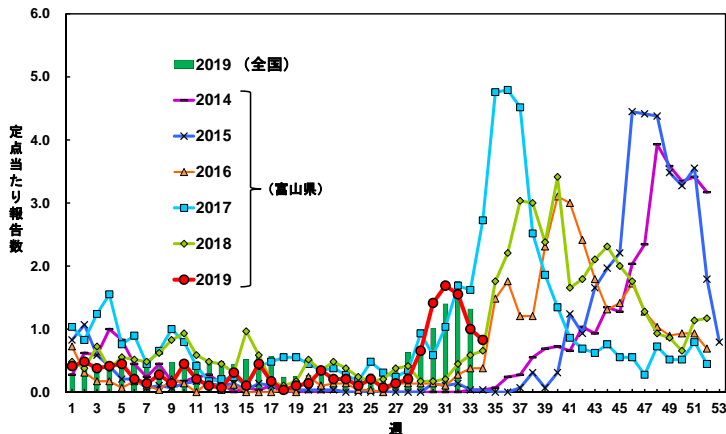
### 《全数報告の感染症》

- 二類感染症 結核 3件 (①第33週診断分：70歳代、男性 ②60歳代、男性 ③80歳代、男性)
- 四類感染症 デング熱 1件 (50歳代、女性)
- 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1件 (70歳代、女性)
- 百日咳 9件 (①②共に第33週診断分：10歳未満、女性  
③④共に10歳未満、男性 ⑤⑥共に10歳未満、女性  
⑦⑧共に10歳代、女性 ⑨40歳代、女性)

### 《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	2.93 (↑)	2.52
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.34 (↑)	0.48
3位	伝染性紅斑	1.14 (↑)	0.21
4位	手足口病	1.10 (↓)	1.28
5位	RSウイルス感染症	0.83 (↓)	1.00
6位	ヘルパンギーナ	0.59 (↓)	0.79

RSウイルス感染症報告数



○感染症発生動向調査報告状況（令和元年第34週 令和元年8月19日～令和元年8月25日）

分類	疾患	今週報告分（第34週）					累積報告数							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核		1	1			2	20	9	37	24	34	124	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								1	4	4	6	15	
四類感染症	E型肝炎							3		1			4	
	A型肝炎							1					1	
	つつが虫病							1					1	
	デング熱					1	1					1	1	
	レジオネラ症							2		11	7	13	33	
五類感染症	アメーバ赤痢											3	3	
	ウイルス性肝炎									1			1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症			1			1			4	1	2	7	
	急性弛緩性麻痺									1			1	
	急性脳炎											2	2	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2	3	6	11	
	後天性免疫不全症候群											5	5	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	2	2	5	
	侵襲性肺炎球菌感染症									8	8	8	24	
	水痘（入院例）							1	2			5	8	
	梅毒									2	1	13	16	
	播種性クリプトコックス症											1	1	
	破傷風									1			1	
	百日咳				3	1	3	7	1	5	64	52	92	214
	風しん									1			3	4
	麻しん										1	2		3
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ		1			3	4	1,427	919	3,154	1,691	3,685	10,876
			0.20			0.19	0.08							
RSウイルス感染症		1	3	9		11	24	15	47	91	34	209	396	
		0.25	1.00	1.13		1.10	0.83							
咽頭結膜熱		4		4		1	9	155	21	228	50	180	634	
		1.00		0.50		0.10	0.31							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	1	9	6	21	39	108	112	552	238	966	1,976	
		0.50	0.33	1.13	1.50	2.10	1.34							
感染性胃腸炎		13	15	28	2	27	85	968	765	1,215	461	2,889	6,298	
		3.25	5.00	3.50	0.50	2.70	2.93							
水痘			2			6	8	19	17	44	11	233	324	
			0.67			0.60	0.28							
手足口病		7	5	2		18	32	165	218	1,014	263	1,135	2,795	
		1.75	1.67	0.25		1.80	1.10							
伝染性紅斑		4	2	9	2	16	33	111	57	414	108	492	1,182	
		1.00	0.67	1.13	0.50	1.60	1.14							
突発性発しん		1		2		5	8	25	30	155	34	137	381	
		0.25		0.25		0.50	0.28							
ヘルパンギーナ		3	1	8	1	4	17	119	99	228	58	200	704	
		0.75	0.33	1.00	0.25	0.40	0.59							
流行性耳下腺炎		1					1	3	7	8	1	20	39	
		0.25					0.03							
急性出血性結膜炎												12	12	
流行性角結膜炎			2			2	1	9	29	28	7	74		
			1.00			0.29								
細菌性髄膜炎												4	4	
無菌性髄膜炎							2					1	3	
マイコプラズマ肺炎		2				2		6	2				8	
		2.00				0.40								
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							1		8	7	2	18		
インフルエンザによる入院患者（*）						1	1	42	42	52	98	102	336	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

\*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成30年第36週(9月3日)～の集計です。